

感染症対策：自宅待機用マニュアル<発熱等の場合>

◎部屋を分けましょう。

◎お世話は、限られた方でしましょう。

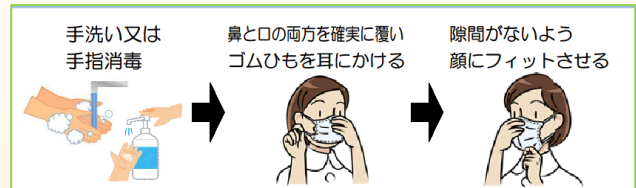
◎マスクをつけましょう。 マスクの表面にはふれない、外した後は手を消毒
しましょう。

◎こまめに手を洗い、アルコール消毒をしましょう。

◎定期的に換気をしましょう。

◎手で触れる共有部分の消毒をしましょう。

◎衣服、リネンを洗濯 手袋やマスクをして行いましょう。



1 毎日、体温を測り記録してください。(朝・夕)



血中酸素濃度を測定し記録してください。



※ 次亜塩素酸薄め液やアルコールを器具にかけないように気をつけてください。

2 食事は、家族とは別の部屋でとり、食器も別にして食器を置くところも別
にしておきます。(おすすめは、捨てられる はしやお皿など)

3 家族は、食事や部屋に入るときは、「法人」からの防護服・ビニールキャッ
プ・手袋・シューズカバー及び自分の防護用めがねを着用しましょう。

4 使った防護服やキャップ等は、次亜塩素酸薄め液につけて、消毒をします。

5 使った終わった防護服等はビニール袋に入れて、しばって他の処分するも
のとは別にして捨てましょう。



6 お風呂は、最後に入り、お風呂掃除に次亜塩素酸を使用しましょう。

7 トイレは、複数ある場合は家族が別々に使用しましょう。1つしかない場合は、その都度、家族が次亜塩素酸薄め液で消毒します。


8 手で触れる部分は、次亜塩素酸薄め液を使い、ふきかたは、



片面を一方方向にふいたら、次は別の面でふきましょう。



9 施設からの 感染防止グッズ

1	マスク	5
2	防護服	5
3	ビニールキャップ	5
4	シューズカバー	5
5	ビニール手袋 	5
6	次亜塩素酸うすめ液	500ml



これらが1セットです。

差し上げます。

10 施設では、職員の皆様の健康を第一に考え、発熱等があった場合、感染防止グッズを差し上げます。

※毎日の体の状況を本人あるいはご家族の方が施設にご連絡をお願いします。

